

第53回日本東洋心身医学研究会

プログラム

テーマ

博く衆方を采る

開催日時

平成29年3月4日(土) 12:40～18:30

会場

品川インターシティホール

〒108-0075 東京都港区港南2-15-4

3/4(土)10:00以降 03-5479-0750

*緊急連絡先

TEL: 03-5418-7773 [3/3 (金) 17:00～3/4 (土) 10:00]

第53回日本東洋心身医学研究会

会長 新谷 卓弘 (やすらぎ内科)

共催：日本東洋心身医学研究会  株式会社 ツムラ

◎日本東洋心身医学研究会 ホームページアドレス
<http://www.k-kenkyukai.com/toyoshinshin/>

第53回日本東洋心身医学研究会 タイムスケジュール

12:40	開会の辞
12:45	
	EBM作業チーム報告〈30分〉
13:15	一般演題セッションⅠ〈50分〉 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
14:05	一般演題セッションⅡ〈50分〉 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
14:55	休憩〈10分〉
15:05	
	理事会報告ならびに日本東洋心身医学研究会研究奨励賞授与式〈15分〉
15:20	特別講演〈45分〉
16:05	シンポジウム：洋の東西における解決志向〈30分〉
16:35	休憩〈10分〉
16:45	
	一般演題セッションⅢ〈50分〉 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
17:35	一般演題セッションⅣ〈50分〉 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
18:25	閉会の辞
18:30	

学術集会終了後、情報交換会を予定しております。

第53回日本東洋心身医学研究会 プログラム

◆ 会期：平成29年3月4日(土) 12:40～18:30

◆ 会場：品川インターシティホール 東京都港区港南2-15-4

◆ 第53回会長：新谷 卓弘(やすらぎ内科)

開会の辞 第53回 会長 新谷 卓弘(やすらぎ内科)

(12:40～12:45)

■EBM作業チーム報告

(12:45～13:15)

座長：岡 孝和(九州大学)

I 「めまいに対する漢方治療」

独立行政法人国立病院機構東京医療センター 耳鼻咽喉科 五島 史行

II 「耳鳴における漢方製剤のEBM」

和光耳鼻咽喉科医院 齋藤 晶

III 「頭痛及び頭痛に随伴する精神疾患に対する漢方治療のエビデンス」

らいむらクリニック／千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座 來村 昌紀

■一般演題 I

(13:15～14:05)

座長：木村 容子(東京女子医科大学東洋医学研究所)

1. 起立性調節障害に伴う頭痛・登校困難に対して漢方治療が有効だった男児例

東京都立神経病院 神経小児科 栗原 栄二

2. 妊娠および産後の神経症状における抑肝散加陳皮半夏の治療経験

医療法人明珠会 札幌白石産科婦人科病院¹⁾、札幌医科大学麻醉科²⁾

○武田 智幸¹⁾、渡辺 廣昭²⁾

3. 難治性のPMDDに対する漢方治療の2症例

朋佑会札幌産科婦人科 佐野 敬夫

4. 香蘇散の応用疾患の多様性

岐阜県総合医療センター 産婦人科・漢方外来 佐藤 泰昌

5. 漢方薬と西洋薬の併用で精神身体症状が軽快したと同時に月経が再開した続発性無月経の2症例

つくばセントラル病院¹⁾、協和中央病院東洋医学センター²⁾、霞ヶ浦医療センター³⁾

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学⁴⁾、野木病院⁵⁾

東邦大学薬学部⁶⁾、筑波大学附属病院⁷⁾

○岡村 麻子¹⁾⁶⁾、竹島 絹子¹⁾、田中 奈美¹⁾、柴田 衣里¹⁾、長田 佳世¹⁾

高橋 晶⁴⁾、星野 朝文³⁾⁷⁾、玉野 雅裕²⁾⁷⁾、加藤 士郎⁵⁾²⁾⁷⁾

6. 外陰部感覚異常に対して漢方薬を処方した一例

甲府共立病院 産婦人科¹⁾、中田医院 中国医学研究所²⁾

○鶴田 統子¹⁾、鶴田 幸雄¹⁾、池田 頌子¹⁾、深澤 喜直¹⁾、中田 薫²⁾

■一般演題 II

(14:05~14:55)

座長：乾 明夫(鹿児島大学)

7. 漢方治療により完全寛解に至った舌痛症の1症例

トヨタ記念病院 歯科口腔外科¹⁾、中部労災病院 心療内科²⁾

○牧野 真也¹⁾、町田 純一郎¹⁾、青木 義彦¹⁾、大竹 里奈¹⁾、芦原 睦²⁾

8. 歯科心身症に対する柴朴湯の使用経験

新潟県厚生連上越総合病院 歯科口腔外科 桑原 徹

9. 腹鳴恐怖症に漢方治療が有効であった一症例

身延山病院¹⁾、ヨシコクリニック²⁾

○原 典子¹⁾、高木 嘉子²⁾

10. 腹部膨満を主症状とする機能性消化管障害に漢方治療が有効であった透析患者の2症例

えのもとクリニック¹⁾、センブククリニック²⁾

○福原 慎也¹⁾、榎本 康博¹⁾、千福 貞博²⁾

11. 反復性腹痛を漢方内服にて克服し希望通りの進学を二度果たし得た一症例

三重大学病院 漢方外来(麻醉科)¹⁾、三重大学医学部医学系研究科麻醉集中治療学²⁾

○高村 光幸¹⁾、丸山 一男¹⁾²⁾

12. 長期間持続する腹痛症状に対し、心身医学的アプローチと漢方薬で改善をみた1例

東邦大学医療センター大森病院 心療内科

○上野 孝之、中村 祐三、都築 怜、橋本 和明、天野 雄一、竹内 武昭、端詰 勝敬

《 休 憩 》

(14:55~15:05)

理事会報告ならびに日本東洋心身医学研究会研究奨励賞授与式

(15:05~15:20)

■特別講演

(15:20～16:05)

座長：新谷 卓弘(やすらぎ内科)

瘀血病態のなりたちを考える
～心身一如の神経生理学的メカニズムについて～

千葉中央メディカルセンター 和漢診療科 寺澤 捷年

■シンポジウム：洋の東西における解決志向

(16:05～16:35)

座長：新谷 卓弘(やすらぎ内科)

臨床に活かす解決志向ブリーフセラピー

岡クリニック 岡 留美子

移精変気の法－漢方にみる精神療法－

東海大学医学部専門診療学系漢方医学 新井 信

《 休 憩 》

(16:35～16:45)

■一般演題 Ⅲ

(16:45～17:35)

座長：西田 慎二(日本赤十字社和歌山医療センター)

13. いわゆる気象病における五苓散の役割

まきメンタルクリニック 西崎 真紀

14. 漢方及びYNSAによる自律神経調整法を試み、軽快をみた難治性自律神経失調症の1例

富士クリニック

○藤田 周一郎、藤田 素行

15. 虚労として漢方治療を行うことにより抑うつ状態と自律神経失調症の多彩な症状が改善した1例

玄気堂漢方内科クリニック¹⁾、北大前クリニック²⁾

○杉本 久¹⁾、本間 行彦²⁾

16. 同一職場で連続的に発症したうつ病に対して漢方薬が有効であった3症例の検討

労働者健康安全機構・鹿島労災病院和漢診療センター¹⁾

立教大学現代心理学部心理学科²⁾

東京女子医科大学東洋医学研究所³⁾

○藺田 将樹¹⁾、山本 昇伯¹⁾、高田 敦子¹⁾、菊地 学^{1) 2)}

田宮 大介¹⁾、遠藤 良二¹⁾、伊藤 隆^{1) 3)}

17. うつ病に漢方薬が奏効した肝乳頭状腫瘍の1例

仙台画像検診クリニック・東北大学加齢医学研究所¹⁾

木戸クリニック²⁾

○小田野 行男¹⁾、矢野 文月¹⁾、伊藤 正敏¹⁾、須永 隆夫²⁾

18. 半夏厚朴湯の気うつへの効果(第2報:精神疾患のcomorbidity について)

和泉丘病院¹⁾、森田クリニック²⁾

○尾崎 哲¹⁾、山本 修司¹⁾、中村 恒子¹⁾、森田 仁²⁾

■一般演題 IV

(17:35~18:25)

座長：小山 敦子(近畿大学)

19. パーキンソン病患者の不眠に対して酸棗仁湯が奏効した1例

済生会横浜市南部病院 神経内科¹⁾

小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾

○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥 宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

20. 不安感、動悸に対する桂枝加竜骨牡蛎湯(+ボレイ末)の有効性

郡上市民病院 心療内科(精神科) 森清 慎一

21. パニック障害合併妊婦への半夏厚朴湯の臨床効果

国立国際医療研究センター 心療内科¹⁾、五百山クリニック²⁾

赤城高原ホスピタル³⁾

○星野 隆之^{1) 2) 3)}、星野 綾美²⁾、苅部 正巳¹⁾

22. 六病位の視点から捉えた慢性疲労症候群—随証漢方治療が奏功した3症例—

福岡歯科大学医科歯科総合病院 心療内科

○千々岩 武陽、金光 芳郎

23. 心療内科的アプローチで漢方処方を用い、短期間で症状軽減にいたった線維筋痛症(疑)の一例

近畿大学医学部内科学教室 心療内科部門

○保田 紀子、奥見 裕邦、名倉 美樹、和泉 宏昌、酒井 清裕
阪本 亮、牧村 ちひろ、羽多野 裕、松岡 弘道、小山 敦子

24. 補中益気湯が筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)患者の微熱に及ぼす影響について

九州大学大学院医学研究院心身医学

○岡 孝和、須藤 信行

閉会の辞 第53回 会長 新谷 卓弘(やすらぎ内科)

(18:25~18:30)

情報交換会

(18:30~)

会場案内図



電車（JR在来線・新幹線および京急）でご来館の方法

- ①JRおよび京急で『品川駅』下車。港南口へお進みください。
- ②港南口を出ますと、そのまま品川インターシティ2Fのスカイウェイに続く歩道橋があります。
- ③品川インターシティA棟の楕円形のビルがあり、手前の壁面にビル名の表示があります。
※ステンレスの看板の矢印にそって、スカイウェイを奥に直進してください。
(A棟ビル内には入らず、セントラルガーデン沿いのスカイウェイをお進みください)
- ④ホールのご案内がありますので、階段を下り、自動ドアを入るとホールの正面入口がございます。
(ホールはC棟となりのホール棟がございます)

*一般講演は発表6分、質疑2分です。

*日本心身医学会認定医・専門医の更新に必要な単位：出席3単位

*日本心療内科学会認定心療内科専門医の更新に必要な研修単位：出席2単位

*参加費：会員1,000円、非会員5,000円（当日、受付にて徴収させていただきます）

*学術集会終了後、情報交換会を予定しております。

学術集会共催事務局

〒107-8521 東京都港区赤坂2-17-11

株式会社ツムラ 学術企画部内

TEL：03-6361-7187（直通）

FAX：03-5574-6668